

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 28 年 4 月 29 日現在

機関番号：14501

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2013～2015

課題番号：25380301

研究課題名(和文) バングラデシュにおける企業家能力の形成・発展に関する研究

研究課題名(英文) A Study on Entrepreneurship Formation and Development in Bangladesh

## 研究代表者

松永 宣明 (MATSUNAGA, NOBUAKI)

神戸大学・国際協力研究科・教授

研究者番号：80127399

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 2,900,000円

研究成果の概要(和文)：バングラデシュの縫製業に急成長をもたらした主要な要因は、豊富で安価な労働、多角的貿易取極めによる輸出割当、知識の波及、「特別保税倉庫制度」と「見返り信用状」の導入、同業組合の果たした種々の機能であり、これらが縫製業における企業家能力の形成・発展を促進した外在的要因である。内在的要因としては、資本規模では職業経験と銀行融資、雇用規模では教育水準と社会関係資本、資本増加率では職業経験が特に重要であり、これらの特徴を有していれば企業家能力は相対的に高い傾向がある。また、人的資本と社会資本が特に重要であり、両者が好循環をなして相互補強的に作用して企業家能力を強化し、企業パフォーマンスを向上させている。

研究成果の概要(英文)：What contributed to the rapid growth of garment industry in Bangladesh? The major factors turn out to be abundant and cheap labor, export quota given by Multilateral Fiber Arrangement, knowledge spillover in this industry, Special Bonded Warehouse System, Back-to Back Letter of Credit facility, and many functions of garment manufacturers associations in Bangladesh. While these are the external factors which enhanced entrepreneurship of the industry in Bangladesh, the internal factors are no less important. Owners' experience of previous jobs and bank credit are important for entrepreneurship development in terms of capital size, owners' educational level and social capital in terms of labor size, and owners' experience of previous jobs in terms of capital growth. Particularly important are human capital and social capital of the owners. They tend to interact with each other to strengthen the entrepreneurship, thereby improving the firm performance in Bangladeshi garment industry.

研究分野：経済開発論

キーワード：バングラデシュ 企業家能力 縫製業 経済開発 人的資本 社会資本 企業パフォーマンス 見返り信用状

## 1. 研究開始当初の背景

バングラデシュは、かつて渡辺利夫教授が『成長のアジア 停滞のアジア』の中で「貧困脱出のシナリオを書きようにも、その素材をまるでもち合わせていない最貧の開発途上国」(176頁)と論じられた国であるが、1980年に縫製品輸出を始めてからは着実に成長を続けている。しかも、外国企業や国有企業ではなく、土着の民間企業の急増によって経済発展を続けているのが特徴である。

土着の民間企業の増加については、企業家能力という観点から多くの研究がなされてきたが、その対象は圧倒的に先進国が中心であり、開発途上国が対象にされることは最近まで皆無に等しかった。

最近、企業家能力と経済発展に関する研究が相次いで発表された。A. Szirmai et al (eds.), *Entrepreneurship, Innovation and Economic Development*, 2011, Oxford University Press と W. Naude (ed.), *Entrepreneurship and Economic Development*, 2011, Palgrave Macmillan である。前者は「技術革新」を重視した研究書ではあるが、中国、インド、ブラジル、トルコなど途上国も研究対象としており、企業家が経済発展に及ぼす効果と必要な条件について明らかにしている。

後者は世界銀行の *Doing Business*、国連大学世界開発経済学研究所による業績、*Global Entrepreneurship Monitor* プロジェクトの成果等を踏まえて経済発展における企業家能力の役割等について論じているが、その中心はビジネス環境の国際比較や改善策に向けられており、個々の開発途上国について詳しく分析したものではない。

ところで、バングラデシュにおいて本格的に輸出が始まった1980/81年に390万ドルでしかなかった縫製品輸出金額は、6年後には3億ドル近くにまで増加し、縫製企業数も数社から700社以上にまで急増している。2015年には、縫製企業数は5000社を超え、400万人を超える労働者に貧困から脱出する雇用機会を与えている。

## 2. 研究の目的

本研究の第1の目的は、この企業数の急増がいかなる要因によって生じたのかを明らかにすることである。K. A. Mottaleb and T. Sonobe, *An Inquiry into the Rapid Growth of the Garment Industry in Bangladesh*, *Economic Development and Cultural Change*, 6-1 (2011) では、企業家の教育水準と共に技術習得に際して商社の果たした役割が大きいと述べられているが、それだけで稀にみる企業増殖を説明することはできない。特別保税倉庫、見返

り信用状 (Back to Back Letter of Credit) などとともに、企業グループ(その形成に大きな役割を果たした社会資本)について研究することが必要である。

第2の目的は、企業グループあるいは「財閥」がバングラデシュの経済多角化に果たしつつある役割を分析し、将来の望ましい経済発展の方向を考察することである。バングラデシュには縫製業・皮革加工業・船舶解体業だけではなく、造船業・IT関連産業・医薬品製造業なども増えつつあり、それらは財閥が多角化する形で発展している。企業家能力に制約のある開発途上国においては、企業家能力を節約するために実績のある企業家に資金が集中する傾向があり、その結果として財閥が拡大していく傾向が強い。これはバングラデシュにおける企業家能力の形成・発展について研究する際には非常に重要な視点である。

## 3. 研究の方法

本研究では、まず縫製企業の急増を可能にした要因を明らかにした。その際、特に重視した点は以下の3点である。1つ目は「見返り信用状」の果たした金融的・経済的效果、2つ目は海外に働きに出た人々による送金と人的資本の還流による効果、3つ目は企業グループないし財閥の形成・発展に大きな役割を果たした社会資本(血縁・地縁関係による密接な協力)の効果であり、これらについて企業レベルの調査を実施した。

次に、企業グループの核となる企業がどのような経緯によって形成されたか、それがいかにしてグループとして発展していったか、また将来どのような方向に拡大しつつあるかを企業レベルで明らかにした。

最後に、それらがバングラデシュ経済全体にいかなる影響を与えてきたか、また将来いかなる影響を与えるかについて考察し、この国にとって必要な政策を提案した。

ダッカでのアンケート調査では縫製産業に焦点を絞って実施したが、予算制約と時間制約に加えて厳しい交通・通信状況のために無作為抽出調査はできなかった。商業省輸出促進局(EPB)の繊維部門による協力を得て、EPBに登録し日常的にEPBと事業接触している企業の代表者に対してアンケート用紙を配布・回収し、企業レベルのデータを入手したが、それでも十分に信頼できるデータとはならなかった。

なお、販売額、原材料購入額、従業員数、資本金などを調査して企業の効率性を推計する試みも行ったが、多くの企業はグループの一員として相互の協力関係が強いため、

個々の企業について効率性を推計することは極めて困難か、あるいは無意味であることが判明したので、この種の推計は断念せざるを得なかった。

それを補うために、下記のような現地調査に加えて、EPB と縫製品製造・輸出業者組合のキーパーソンを日本に招聘し、情報交換を行なうとともに、セミナーを開催した。

#### 4. 研究成果

2013 年度に実施した予備調査に基づく研究成果として「バングラデシュの縫製業」と題する論文を執筆し、発刊した。この論文は独立以後のバングラデシュにおける経済発展を振り返り、特に 1990 年以降の経済発展がいかに進んでいったかを既存の研究・資料・統計に基づいて明らかにしたものである。

その内容を要約すれば、豊富で安価な労働、MFA（多角的貿易取極め）による輸出割当、知識の波及、「特別保税倉庫制度」と「見返り信用状」の導入、同業組合の果たした種々の機能が縫製業に急成長をもたらした主要な要因であり、縫製業における企業家能力の形成・発展を促進した外在的要因である。

2013 年 7 月にバングラデシュの首都ダッカを訪問し、輸出促進局、縫製品製造・輸出業者組合、ニット製品製造・輸出業者組合、商工会議所、縫製業者など多数の関係者に対してインタビュー調査を実施するとともに、現地の縫製業者を対象にしたアンケート調査を実施し、有効回答 330 社分を得た。また、縫製品製造・輸出業者組合のダイレクトリーを入手し、全ての加盟業者(4426 社)の特徴を明らかにして、アンケート調査を補った。

その成果に基づいて「企業家能力の形成・発展 - バングラデシュ縫製業のケース」と題する論文を執筆し、発刊した。この論文は、企業家能力の形成・発展という観点から、過去 30 年間にわたり目覚ましい躍進を遂げてきたバングラデシュ縫製業について、その躍進の秘密を探り、それを通じて企業家能力の形成・発展に関する知見を得ることを目的に執筆されたものである。

独自に実施したアンケート調査の結果を踏まえた計量分析によって企業家能力の形成・発展を促した要因を探る試みを行なったが、その推定結果から明らかになった主な点は以下の通りである。資本規模では職業経験と銀行融資、雇用規模では教育水準と社会関係資本、資本増加率では職業経験が企業家能力にとって重要であり、これらの特徴を有していれば企業家能力は相対的に高い傾向がある。

2014 年 9 月にバングラデシュの首都ダッカを訪問し、縫製企業 6 社に加えて、縫製品製造・輸出業者組合、ニット製品製造・輸出業者組合、ファッション技術大学、縫製業関連企業(ラベル印刷会社、ロジスティック企業、総合商社)、製薬会社、バイク・家電製造会社などを訪問して、インタビュー調査を実施した。このうち製薬会社とバイク・家電製造会社は大企業であり、企業グループを形成しているため、バングラデシュにおける企業グループの解明を目的としたものである。

以上の研究結果をとりまとめ、それについて学会にて報告するとともに、以下の論文を執筆し、発刊した。“Does Human and Social Capital Enhance Entrepreneurship? : A Case Study of the Garment Industry in Bangladesh” *International Journal of Economic Policy Studies*, Vol.10, 2015. これは定評のある学会誌の査読付き論文である。

その内容をごく簡単に要約すれば、合計 330 社のアンケート調査結果を入手して計量分析を行なった結果、人的資本と社会資本が特に重要であること、人的資本と社会資本が好循環をなして相互補強的に作用して企業家能力を強化し、企業パフォーマンスを向上させていることを明らかにしている。

様々な試行錯誤の結果、ある程度のデータは入手できたものの、バングラデシュにおいては信頼性の高いデータの入手が困難であることが判明したので、それを補うため 2015 年 3 月にタイとミャンマーで現地調査を実施し、縫製企業それぞれ 3 社と 5 社を訪問して、インタビュー調査を実施した。これは次年度の本調査実施に向けた予備調査である。

2016 年 3 月にミャンマーで現地調査を実施し、縫製企業 6 社を訪問して、インタビュー調査を実施するとともに、縫製業組合である Myanmar Garment Manufacturers Association (MGMA)を訪問し、加盟業者(369 社)に関するダイレクトリーと統計データを入手した。現在、これらを分析して論文にまとめているところである。この結果とバングラデシュの縫製企業に関する分析結果を比較して、後者の特徴を明らかにする論文を執筆し、発刊する予定である。

#### 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕(計 4 件)

1. Souksavanh Vixathep and Nobuaki Matsunaga “Does Human and Social Capital Enhance Entrepreneurship? : A Case Study of the Garment Industry in Bangladesh” *International Journal of Economic Policy Studies*, Vol.10, 査読有, 2015 年.

2. 松永 宣明「企業家能力の形成・発展  
バングラデシュ縫製業のケース」神戸大学  
『経済経営研究(年報)』第 63 号, 109-135  
頁, 査読無, 2014 年。

3. 松永 宣明「バングラデシュの縫製業」神  
戸大学『国民経済雑誌』第 207 卷 第 4 号,  
1-17, 査読無, 2013 年 4 月。

4. Souksavanh Vixathep and Nobuaki Matsunaga  
“Entrepreneurship and Firm Efficiency in  
Bangladesh’s Textile and Clothing Industry” in  
*Proceedings of the 13th International Conference*  
*of the JEPA*, 査読無, 2014 年。

〔学会発表〕(計 1 件)

1. Souksavanh Vixathep and Nobuaki Matsunaga  
“Entrepreneurship and Firm Efficiency in  
Bangladesh’s Textile and Clothing Industry.” The  
13th International Conference of the Japan  
Economic Policy Association (Meiji University),  
Tokyo, 9 November, 2014.

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

松永 宣明 (MATSUNAGA NOBUAKI)  
神戸大学・大学院国際協力研究科・教授  
研究者番号: 80127399

### (2) 研究分担者

ヴィサテップ・スクサバン  
(VIXATHEP SOUKSAVANH)  
京都大学・大学院経済学研究科・講師  
研究者番号: 80599027

### (3) 研究協力者

Mr. Salahuddin Mahmud, Director General,  
Export Promotion Bureau, Ministry of  
Commerce, Dhaka.

Mr. Shubhashish Bose, Vice Chairman, Export  
Promotion Bureau, Ministry of Commerce,  
Dhaka.

Mr. Abu Mukhles Alamgir Hossain, Assistant  
Director, Export Promotion Bureau, Ministry  
of Commerce, Dhaka.